

赤碕中学校自転車置場改築工事

図面番号	図面名称	図面番号	図面名称	図面番号	図面名称
A - 0	タイトル	A - 7	配置図、付近案内図	A - 1 4	新設 平面図
A - 1	建築特記仕様書（ 1 ）	A - 8	部分配置図、面積表	A - 1 5	新設 立面図
A - 2	建築特記仕様書（ 2 ）	A - 9	解体 平面図	A - 1 6	新設 基礎伏図、基礎詳細図
A - 3	解体特記仕様書（ 1 ）	A - 1 0	解体 立面図	A - 1 7	新設 小屋・屋根伏図
A - 4	解体特記仕様書（ 2 ）	A - 1 1	解体 基礎伏図	A - 1 8	新設 矩計図
A - 5	解体特記仕様書（ 3 ）	A - 1 2	解体 小屋・屋根伏図		
A - 6	解体特記仕様書（ 4 ）	A - 1 3	解体 矩計図		

(有)アーク設計工房 琴浦事務所

3 土木工事	1 埋戻し及び盛土 (3.2.3)	埋戻し土 種別 ・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種 表3.2.1 ・建設汚泥から再生した処理土[G] D種の場合は必要に応じて「セメント及びセメント系固化材を使用した改良土の六価クロム溶出試験実施要領(案)」により、監督職員と協議の上、六価クロム溶出試験を行う	6 コンクリート工事	1 コンクリートの種類及び強度 (6.2.1-4)	普通コンクリート 表6.2.1 設計基準強度 F c (N / mm ²) 気乾単位 (t / m ³) スランプ (cm) 適用場所 ・ 21 ○ 24 ・ 18 2.3程度 1.8 ○ 18 2.3程度 1.5 1.8 ○上記以外 類(J I S A 5308「レディーミストコンクリート」への適合を認証されたコンクリート) ・類(J I S A 5308に適合したコンクリート)	22 舗装工事	1 路床 (22.2.2、3、5) (表22.2.2)	路床の材料 (22.2.2、3、5)(表22.2.1) 種別 材料 厚さ(mm) ・盛土 ・A種 ・B種 ・C種 ・D種 ・図示 ・凍上抑制層 ・再生クラッシャーラン[G] ・クラッシャーラン ・切込み砂利 ・図示 ・砂 ・フィルター層 ・砂 ・ ・ 路床安定処理 ・添加材料による安定処理 種類 ・普通ポルトランドセメント ・高炉セメントB種 ・フライアッシュセメントB種 ・生石灰() ・消石灰() 添加量 kg(目標CBR ・3以上) 目標CBRを満足する添加量の確認方法 ・安定処理土のCBR試験 ・ジオテキスタイル 単位面積質量 ・60g/m ² 以上 厚さ(mm) ・0.5~1.0 引張強さ ・98N/5cm(10kgf/5cm)以上 透水係数 ・1.5×10cm/sec以上 試験 砂の粒度試験 ・行う ・行わない 路床土の支持力比(C B R)試験 ・行う ・行わない 路床締固め度の試験 ・行う ・行わない 現場CBR試験 ・行う ・行わない				
	2 建設発生土の処理 (3.2.5)	構外指示の場所に処分 ・ 構内指示場所に敷き均し ・ 構内指示場所に堆積		2 レディーミストコンクリート (6.2.1)(6.4.1-2)	3 セメントの種類 (6.3.1)		2 路盤 (22.3.2、3、5) (表22.3.1)	路盤の厚さ ○図示 路盤材料 種類 砕石 ・クラッシャーラン ・粒度調整砕石 再生材 ○クラッシャーラン[G] ・粒度調整砕石[G] ・クラッシャーラン鉄鋼スラグ[G] ・粒度調整鉄鋼スラグ[G] ・水硬性粒度調整鉄鋼スラグ[G] 路盤締固め度の試験 行う ・行わない				
	3 山留めの撤去 (3.3.3)	存置範囲(・図示)		3 セメントの種類 (6.3.1)	3 アスファルト舗装 (22.4.2-6) (表22.4.4)		アスファルト舗装の構成及び厚さ 図示 材料 アスファルト ○再生アスファルト[G] ・ストレートアスファルト 骨材 ・道路用砕石 ○アスファルトコンクリート再生骨材[G] 加熱アスファルト混合物等の種類 区分 地域 種類 表層 ・一般地域 ・密粒度アスファルト混合物(13) ・寒冷地域 ・細粒度アスファルト混合物(13) ・密粒度アスファルト混合物(13F) シールコートの施工 ・行う ・行わない 試験 アスファルト混合物等の抽出試験 ・行う ・行わない 舗装の平たん性 通行の支障となる水たまりを生じない程度					
4 地盤工事	5 砂利地盤 (4.6.2-3)	材料 再生クラッシャーラン [G] ・切込み砂利及び切込み砕石 厚さ及び使用範囲 使用範囲 厚さ 60 ・基礎下 ・土間コンクリート下 ・土に接するスラブ下 ○ 図示による	鉄筋工事	5 混和材料 (6.3.1)	6 無筋コンクリート (6.3.1) (6.14.1-3)	舗装工事	3 アスファルト舗装 (22.4.2-6) (表22.4.4)	アスファルト舗装の構成及び厚さ 図示 材料 アスファルト ○再生アスファルト[G] ・ストレートアスファルト 骨材 ・道路用砕石 ○アスファルトコンクリート再生骨材[G] 加熱アスファルト混合物等の種類 区分 地域 種類 表層 ・一般地域 ・密粒度アスファルト混合物(13) ・寒冷地域 ・細粒度アスファルト混合物(13) ・密粒度アスファルト混合物(13F) シールコートの施工 ・行う ・行わない 試験 アスファルト混合物等の抽出試験 ・行う ・行わない 舗装の平たん性 通行の支障となる水たまりを生じない程度				
	6 捨てコンクリート地盤 (4.6.4)	コンクリートの仕様 6コンクリート工事 6無筋コンクリートによる 厚さ及び使用範囲 使用範囲 厚さ ○ 50 ○基礎下 ・土に接するスラブ下 ・ 図示による		6 骨材の種類 (6.3.1)(6.5.4)					4 コンクリート舗装 (22.5.2-4、6)	コンクリート舗装の構成及び厚さ 舗装の種類 部位 構成 厚さ(mm) コンクリート舗装 車道及び駐車場 ・図示 ・図示 歩行者用通路 ・図示 70 縁部立下り寸法等 ・図示 材料 コンクリート ・標準仕様書表22.5.1による 早強セメント ・使用する ・使用しない 注入目地材料 低弾性タイプ ・高弾性タイプ 目地 種類、間隔、構造 標準仕様書表22.5.2及び図22.5.3による ・図示		
	1 鉄筋の種類 (5.2.1)	規格の名称 種類の記号 使用箇所 呼び径(mm) 備考 異形鉄筋 S D 295A 図示による D16以下 (鉄筋コンクリート用棒鋼) S D 345 図示による D19以上		7 ひび割れ誘発目地 打継目地 (6.6.3)(6.8.2) (9.7.3)(11.1.3)					5 カラー舗装 (22.6.2-4)	カラー舗装の構成及び厚さ カラー舗装の種類 部位 構成 厚さ(mm) ・加熱系 ・アスファルト混合物 ・車路 ・図示 ・石油樹脂系混合物 ・歩行者用通路 ・常温系 ・ 常温系カラー舗装の着色部の下部 ・アスファルト舗装 ・コンクリート舗装 材料 添加する材料 ・着色骨材() ・自然石() 配合 結合材に石油樹脂を使用する場合の顔料添加量 ニート工法及び塗布工法の配合等		
5 鉄筋工事	2 溶接金網 (5.2.2)	種類の記号 使用箇所 呼び径・寸法・形状(mm) ・溶接金網 新設土間コンクリート 6.0×100×100 ・鉄筋格子	鉄筋工事	8 コンクリートの仕上り (6.2.5)(6.6.6) (6.8.3)	9 打増し厚さ (6.8.2)	舗装工事	4 コンクリート舗装 (22.5.2-4、6)	コンクリート舗装の構成及び厚さ 舗装の種類 部位 構成 厚さ(mm) コンクリート舗装 車道及び駐車場 ・図示 ・図示 歩行者用通路 ・図示 70 縁部立下り寸法等 ・図示 材料 コンクリート ・標準仕様書表22.5.1による 早強セメント ・使用する ・使用しない 注入目地材料 低弾性タイプ ・高弾性タイプ 目地 種類、間隔、構造 標準仕様書表22.5.2及び図22.5.3による ・図示				
	3 圧接完了後の試験 (5.4.9)	外観試験 行う(全数) 抜取試験 超音波探傷試験 ・引張試験 試験ロット:1組の作業班が1日に行った圧接箇所とする。		9 打増し厚さ (6.8.2)								
	4 鉄筋の継手 (5.3.4)	継手の工法 部位 継手工法と適用径の範囲 ・柱主筋 ガス圧接(D19以上) ・ ・梁主筋 ガス圧接(D19以上) ・ ・基礎スラブ、耐圧スラブ ・重ね継手(D16以下) ・ガス圧接(D19以上) ・土圧壁など ・重ね継手(D16以下) ・ガス圧接(D19以上) ・耐震壁 ・重ね継手 ・ ・杭主筋 重ね継手 ・ 鉄筋の継手位置 ・構造関係共通事項による 鉄筋の継手長さ 柱及び梁の主筋 40dと標準仕様書 表5.3.2の重ね継手長さのうち、大きい値とする ・標準仕様書 表5.3.2の重ね継手長さ 耐力壁の鉄筋 40dと標準仕様書 表5.3.2の重ね継手長さのうち、大きい値とする ・標準仕様書 表5.3.2の重ね継手長さ 上記以外の鉄筋 標準仕様書 表5.3.2の重ね継手長さ		10 型枠 (6.8.2-4)								
5 基礎梁主筋の継手	・構造関係共通事項 図5.2による(全て 構造図による) ・構造関係共通事項 図5.3による(全て 構造図による) ・構造関係共通事項 図5.4による(全て 構造図による)	11 コンクリートの試験 (6.9.1-6)										
6 鉄筋の定着長さ (5.3.4)	柱に取り付ける梁の引張り鉄筋 40dと標準仕様書 表5.3.4の定着長さのうち、大きい値とする ・標準仕様書 表5.3.4の定着長さ 上記以外の鉄筋 構造関係共通事項による	11 コンクリートの試験 (6.9.1-6)										
7 鉄筋のかぶり厚さ及び間隔(溶接金網含む) (5.3.5)	最小かぶり厚さ(目地底よりかぶりを確保する) ○構造関係共通事項 表4.1による 柱及び梁の主筋にD29以上の使用の有無 ・なし ・有り 適用箇所() 主筋のかぶり厚さを径の1.5倍以上確保する 耐久性上不利な部分(塩害等を受けるおそれのある部分等) 無し ・有り 最小かぶり厚さは下表による 施工箇所 構造関係共通事項の値に加える寸法(mm) ・柱、梁、壁及び庇などの外気に接する面 10 ・塩害の恐れがある部分 ・20 ・30 ・図示 鉄筋相互のあき(機械式継手及び溶接継手を除く) ・構造関係共通事項による	11 コンクリートの試験 (6.9.1-6)										
				HEAD	CHIEF	DRAW	TITLE	赤碕中学校自転車置場改築工事		ARCH 有限会社 アーク設計工房 一級建築士 第262287号 杉嶋 信次 TEL 0858-52-3599/FAX 0858-52-3599	NO. A - 2 DRAWING NO. 2022.9	
								建築工事仕様書(2)				
								SCALE				

建築物解体工事仕様書

二. 工 事 概 要

1. 工事場所 鳥取県東伯郡琴浦町赤碕1922-1
2. 敷地面積 37,897.28 m²
3. 地域地区 都市計画地域(・**内**・外) 市街化調整区域
用途地域等 (指定なし)

4. 建 物 概 要

[illegible]

建築解体工事仕様

1. 共通仕様

- (1) 図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「建築物解体工事共通仕様書（平成31年版）」（以下、「解体共通仕様書」という。）による。ただし、解体共通仕様書に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部制定「公共建築工事標準仕様書（建築工事編）（平成31年版）」（以下、「標準仕様書」という。）及び「公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）（平成31年版）」（以下「改修標準仕様書」という。）による。
- (2) 請負者は、建築基準法に基づく完了検査（中間検査含む）の検査には、特定行政庁（建築主事等）が求める検査に必要な資料等を用意する。
- (3) 電気及び機械設備工事を本工事に含む場合、電気及び機械設備工事はそれぞれの工事仕様書を適用する。

2. 特記仕様

- (1) 項目は番号に 印のついたものを適用する。
- (2) 特記事項は○印のついたものを適用する。
○印のつかない場合は、 印のついたものを適用する。
○印と○印のついた場合は共に適用する。
- (3) 項目に記載の＜ ＞内の表示番号は、解体共通仕様書、[]内の表示番号は改修標準仕様書、()内の表示番号は標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。
- (4) ㊦印は、「国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律」(以下「グリーン購入法」という。)の特定調達品目を示す。判断の基準は「環境物品等の調達の推進に関する基本方針(令和2年2月7日閣議決定)」「環境省のホームページからダウンロード可能)による。
- (5) 各仕様書で「特記がなければ、」以降に具体的な材料・品質性能・工法・検査方法を明示している場合において、それらが関係法令の改正等により(条例を含む)抵触する場合には、関係法令等の遵守[1 . 1 . 1 3]の規定を優先する。
- (6) 材料及び製造所等の記載は順不同である。

章		項 目	特 記 事 項
① 一般共通事項	①	適用基準等	<ul style="list-style-type: none"> ○ 建築工事標準詳細図（平成 2 8 年版） 国土交通省大臣官房官庁営繕部整備課監修（以下「標準詳細図」という。） ○ 建築改修工事監理指針（令和元年版） 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 ○ 工事写真撮影ガイドブック建築工事編及び解体工事編（平成 3 0 年版） 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 ○ 建築工事監理指針（令和元年版） 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修
	②	官公庁その他への手続 <1.1.3>	工事の施工に伴い必要な官公署、その他への手続き、検査並びにその費用は、本工事請負者の負担とする。
	3	電気保安技術者 <1.3.3>	工事現場におく電気保安技術者は、鳥取県総務部営繕工事自家用電気工作物保安規定第 5 条に定める工事担当技術者の職務を補佐し、当該工事の工事期間中自家用電気工作物の保安の業務を行うものとする。
	④	工事安全計画書 <1.3.6>	建築工事安全施工技術指針及び建設公衆災害防止対策要綱を参考に、工事安全計画書を監督職員に提出する。
	⑤	発生材の処理等 <1.3.10>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 引渡しを要するもの（ ） ・ 特別管理産業廃棄物（ ） 処理方法（ ） ・ 現場において再利用を図るもの（ ） ○ 再生資源化を図るもの <ul style="list-style-type: none"> ○コンクリート塊 ○アスファルトコンクリート塊 ○建設発生木材 ・ P C B 含有シーリング材の処理 <ul style="list-style-type: none"> ・ 第一次判定 現場にてサンプルを採取し、シーリング材種及び分析の要否を判定する。 採取箇所数 計 箇所 採取箇所 図示 ・ 第二次判定 専門分析機関にて P C B 含有量の分析を行う。 分析個数 計 箇所 ・ 除去処理工事 除去範囲 図示 ・ せっこうボードの処理 <ul style="list-style-type: none"> ・ 石綿含有せっこうボード 公共工事改修工事標準仕様書 9 章による。 ・ ひ素・カドミウム含有せっこうボード <ul style="list-style-type: none"> ・ 製造業者に回収委託 ・ 埋立処分（管理型最終処分場） 処分施設の名称・所在地（ ） ・ 石綿含有、ひ素・カドミウム含有以外のせっこうボード <ul style="list-style-type: none"> ・ 再資源化（再資源化施設） ・ 最終処分（管理型最終処分場） 処分施設の名称・所在地（ ）
TITLE 赤碕中学校自転車置場改築工事			<div>ARCH</div> <div>有限会社 アーク設計工房</div> <div>一級建築士 第262287号 杉嶋 信次</div> <div>TEL 0858-52-3599/FAX 0858-52-3599</div>
解体 特記仕様書（1） NO SCALE			<div>NO. A - 3</div> <div>DRAWING NO. 2022.9</div>

	<div><div>⑥</div><div>技能士 [1 . 6 . 2]</div></div>	<div>下表により適用する技能士は、適用する工事作業中、 1 名以上の者が自ら作業をするとともに、他の技能者に対して、施工品質の向上を図るための作業指導を行う。 (技能士：職業能力開発促進法による一級技能士又は単一等級の資格を有する者) また、その技能士はその者が技能士であることがわかる名札 (下図参考) を常時着用する。</div> <table><tr><td>工事種目</td><td>技能検定職種</td><td>技能検定作業</td></tr><tr><td>仮設工事</td><td>とび</td><td>⊙ とび作業</td></tr></table> <div>《技能士名札参考図》<div><div><div>5.5 mm</div><div><div>技能士</div><div><div><div>写真 (30 x 40)</div></div><div>職 種 建築大工 級 別 1 級 氏 名 山 夫 血液型 型 勤務先 工務店 自 宅 鳥取市 発行 会</div></div></div><div><div>技能士の職種により色を変えることも可</div><div>技能士の種別</div><div>技能士の級の別</div><div></div><div></div><div>技能士本人の住所</div><div>名札の発行元</div></div></div><div>9.0 mm</div></div></div>	工事種目	技能検定職種	技能検定作業	仮設工事	とび	⊙ とび作業	<div>仮設工事</div>	<div>1 騒音・粉じん等の対策 < 2 . 2 . 2 ></div> <div>2 足場その他 < 2 . 2 . 2 ></div> <div>3 監督職員事務所 < 2 . 3 . 1 ></div> <div>4 表示板</div> <div>5 工事用水</div> <div>6 工事用電力</div> <div>7 工事用仮設物</div> <div>8 工事現場の イメージアップ</div>	<div>設ける (適用範囲、高さ等は図示) ・ 防音パネル ・ 防音シート ・ 設けない</div> <div>足場を設ける場合は、標準仕様書 2 . 2 . 4 (b) によるほか、設置においては「手すり先行工法による。足場の組立て等に関する基準」の 2 の (2) 手すり据置方式、または (3) 手すり先行専用足場方式により行う。 ・ 内部足場の種別 脚立、足場板等 ⊙ 外部足場の種別 ・ 枠組足場 ⊙ くさび緊結式足場 ・ 単管本足場 ・ 仮設ゴンドラ ・ 移動式足場 ⊙ 外部足場の防護シート ⊙ 設置する ・ 設置しない ⊙ 材料、撤去材等の運搬方法 ・ A 種 ・ B 種 ・ C 種 ・ D 種 ・ E 種 ⊙ 受注業者の施工計画による</div> <div>設けない ・ 既存建物内の一部を使用する (場所) ・ 構内に新設する 規模 (m²) ・ 備え付けの備品 () ⊙ 工事表示板 ・ お願い表示板</div> <div><div><div>900</div><div>↑ 1,200 ↓</div><div><div>建 築 工 事 中</div><div>工事名 解体工事 構造・規模 鉄筋コンクリート造 階建 延べ面積 m² 工事期間 令和 年 月から 年 月まで 設計者 設計 監理者 生活環境局 建築住宅課 施工者 建設 連絡先 昼間 - 夜間 - 現場責任者 鳥取県 総合事務所生活環境局 建築住宅課 班 連絡先 -</div></div><div>地色 白 マンセル記号 5 Y R 6 . 5 / 1 1 発注者の指示による</div><div>地色 白 発注者の指示による</div></div><div><div>1,200</div><div>↑ 1,600 ↓</div><div><div>御通行中の皆様へ</div><div>令和 年 月工事完成予定 簡単なバース、又は立面図を掲載する (拡大カラーコピーを張り付けてもよい) 事業の目的 現在の進捗率 % 事業協力をお願い 工事期間中は、ご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力よろしく願います。 施工者 建設 発注者 連絡先 T E L - 鳥取県 鳥取県 総合事務所生活環境局 連絡先 建築住宅課 班 T E L -</div></div><div>地色 白 マンセル記号 5 Y R 6 . 5 / 1 1 発注者の指示による</div><div>地色 白</div></div></div> <div>記入要領 1 . 書体は角ゴシックとする。 2 . お願い表示板は平易な表現及び内容とし、監督職員が指示するものとする。</div>													
工事種目	技能検定職種	技能検定作業																						
仮設工事	とび	⊙ とび作業																						
	<div><div>⑦</div><div>完成写真</div></div>	<div>下記のものを監督職員に提出する</div> <table><tr><td>区 分</td><td>分類・規格</td><td>撮影箇所</td><td>部数</td><td>原版の大きさ (mm)</td></tr><tr><td>⊙ 工事記録写真</td><td>カラーサービス判</td><td>各工種の工程毎</td><td>1 部</td><td>・ 2 4 x 3 6 以上</td></tr><tr><td>完成写真</td><td>カラーサービス判</td><td>・ 自転車置場</td><td>1 部</td><td>・ 2 4 x 3 6 以上</td></tr><tr><td>・</td><td>カラーキャビネ判</td><td>・ 箇所</td><td>部</td><td>・ 2 4 x 3 6 以上</td></tr></table> <div>・ 電子データ及びネガの提出 [工事記録写真] (・ 要 ・ 不要) ・ 電子データ及びネガの提出 [完成写真] (・ 要 ・ 不要)</div>	区 分	分類・規格	撮影箇所	部数	原版の大きさ (mm)	⊙ 工事記録写真	カラーサービス判	各工種の工程毎	1 部	・ 2 4 x 3 6 以上	完成写真	カラーサービス判	・ 自転車置場	1 部	・ 2 4 x 3 6 以上	・	カラーキャビネ判	・ 箇所	部	・ 2 4 x 3 6 以上		
区 分	分類・規格	撮影箇所	部数	原版の大きさ (mm)																				
⊙ 工事記録写真	カラーサービス判	各工種の工程毎	1 部	・ 2 4 x 3 6 以上																				
完成写真	カラーサービス判	・ 自転車置場	1 部	・ 2 4 x 3 6 以上																				
・	カラーキャビネ判	・ 箇所	部	・ 2 4 x 3 6 以上																				
	<div>8 完成時の提出図書</div>	<div>下記のものを監督職員に提出する。 ・ 原図 A 1 版又は A 2 版 (設計図の第 2 原図訂正不可) 部 ・ C A D データ 部 ・ 原図の大型コピー (白焼) の 2 つ折製本 部 ・ 縮小版 2 つ折製本 (A 4 版) 部 ・ 複写 縮小版 A 3 パラ焼 部 完成図の種類及び内容 (改修前後の状態が分かるように整備する。) ・ 案内図・配置図 : 配置図には外構整備、屋外給排水系統図含む。 ・ 残存物等図 ・ 原図ケース・製本図面の背表紙に「施設コード・部局名称」ラベルを貼付ける。</div>																						
	<div>⑨</div> <div>施工図及び施工計画書</div>	<div>提出した施工図及び施工計画書の著作に係わる当該建物に限る使用权は、発注者に移譲する。</div>																						
	<div>⑩</div> <div>火災保険等</div>	<div>工事目的物及び工事材料等工事施工途中の事故に伴う損害を補てんするため火災保険等に参加する。 (保険の加入期間は、工事完成引き渡しまで (概ね工期 + 2 1 日) とする。)</div>																						
	<div>1 1</div> <div>建設リサイクル法</div>	<div>対象工事 ・ 非対象工事</div>																						

	HEAD	CHIEF	DRAW	TITLE	赤 碕 中 学 校 自 転 車 置 場 改 築 工 事	ARCH 有 限 公 司 一級建築士 第 2 6 2 2 8 7 号 杉 嶋 信 次 琴 浦 事 務 所 TEL 0858-52-3599 / FAX 0858-52-3599	NO . A - 4
					解 体 特 記 仕 様 書 (2)		DRAWING NO 2022.9
					NO SCALE		

5

特別管理産業廃棄物の処理

3

P C B
<5.4.3><5.4.4>

P C Bを含む機器類・有（数量は図示）・無

P C B含有シーリング材・有（施工範囲は図示）・無

分析調査・行う
P C Bを含む機器等については、監督職員の指定する箇所に保管する。

廃油・有（数量は図示）・無

廃酸・廃アルカリ
<5.4.6>

ダイオキシン類
<5.4.7>

P C Bを含む機器類・有（数量は図示）・無

P C B含有シーリング材・有（施工範囲は図示）・無

分析調査・行う
P C Bを含む機器等については、監督職員の指定する箇所に保管する。

廃油・有（数量は図示）・無

廃酸・廃アルカリ
<5.4.6>

ダイオキシン類
<5.4.7>

6

アスベスト含有建材の除去及び処理

1

施工調査
<6.1.2>

施工調査
・アスベスト含有建材の事前調査
工事着手に先立ち、目視及び貸与する設計図書等によりアスベストを含有している吹き付け材、成形板、建築材料等の使用の有無について調査し、監督職員に報告する。
調査範囲（・・図示）
貸与資料（・）

2

アスベスト粉じん濃度測定
<6.1.3>

・分析によるアスベスト含有建材の調査
分析対象
アクチノライト、アモサイト、アンソフィライト、クリソタイル、クロシドライト、トレモライト
分析方法
J I S A 1 4 8 1 - 1 又は 1 4 8 1 - 2 「建材製品中のアスベスト含有率測定方法」
・
分析結果については、監督職員に報告する

材料名	定性分析	定量分析
	・（箇所数：）	・（箇所数：）
	・（箇所数：）	・（箇所数：）
	・（箇所数：）	・（箇所数：）

サンプル数 1箇所あたり3サンプル
採取箇所・図示・

・アスベスト粉塵濃度測定
測定時期、場所及び測定点

適用	測定名称	測定時期	測定場所	測定点（各施工箇所ごと）
	測定 1	処理作業前	処理作業室内	・各 1 点 ・各 2 点 ・各 3 点
	測定 2		調査対象室外部の付近	・各 1 点 ・各 2 点
	測定 3	処理作業中	処理作業室内	・各 1 点 ・各 2 点 ・各 3 点
	測定 4		負圧・除塵装置の排出 吹出し口	出口吹出し風速 1 m / s e c 以下の位置 ・各 1 点 ・各 2 点
	測定 5		処理作業室外 （敷地境界）	・計 1 点 ・4 方向各 1 点
	測定 6	処理作業後 （シート養生中）	処理作業室内	・各 1 点 ・各 2 点

7

特殊な建設副産物の処理

1

施工調査
<7.1.3>

分析調査・行う

材 料 名	分 析 方 法	調査の範囲
		図示

2

特殊な建設副産物の回収及び処分
<7.1.3>

回収又は処分を行う副産物の種類

対象機器名称	回収業者又は処分場の名称等	保管場所・処分場の所在地等
・ フロン		
・ ハロン		
・ イオン化式感知器		
・ 六フッ化硫黄(SF6) ガス		
・ PFOS（ペルフルオロオクタン-1-スルホン酸）		
・		

5

アスベスト含有吹付け材の除去
<6.3.2><6.3.3>

アスベスト含有吹付け材の除去
除去対象範囲 図示
除去工法 解体共通仕様書6.3.2(a)(1)～(4)による
除去したアスベスト含有吹付け材等の飛散防止 密封処理（湿潤化・セメント固化）
除去したアスベスト含有吹付け材等の処分
埋立処分(管理型最終処分場)・中間処理（溶融施設）

4

アスベスト含有保温材等の除去
<6.4.3><6.4.4>

・アスベスト含有保温材等の除去
除去対象範囲 図示
作業場の隔離・行う
除去したアスベスト含有保温剤の処分
埋立処分(管理型最終処分場)・中間処理（溶融施設）

5

アスベスト含有成形板の除去
<6.5.2><6.5.3>

アスベスト含有成形板の除去
除去対象範囲 屋根大波スレート
除去したアスベスト含有成形板の処分
・アスベスト含有石こうボード
埋立処分(管理型最終処分場)
アスベスト含有石こうボードを除くアスベスト含有成形板（フキンボード、ひる石等）
埋立処分(管理型最終処分場)・中間処理（溶融施設）

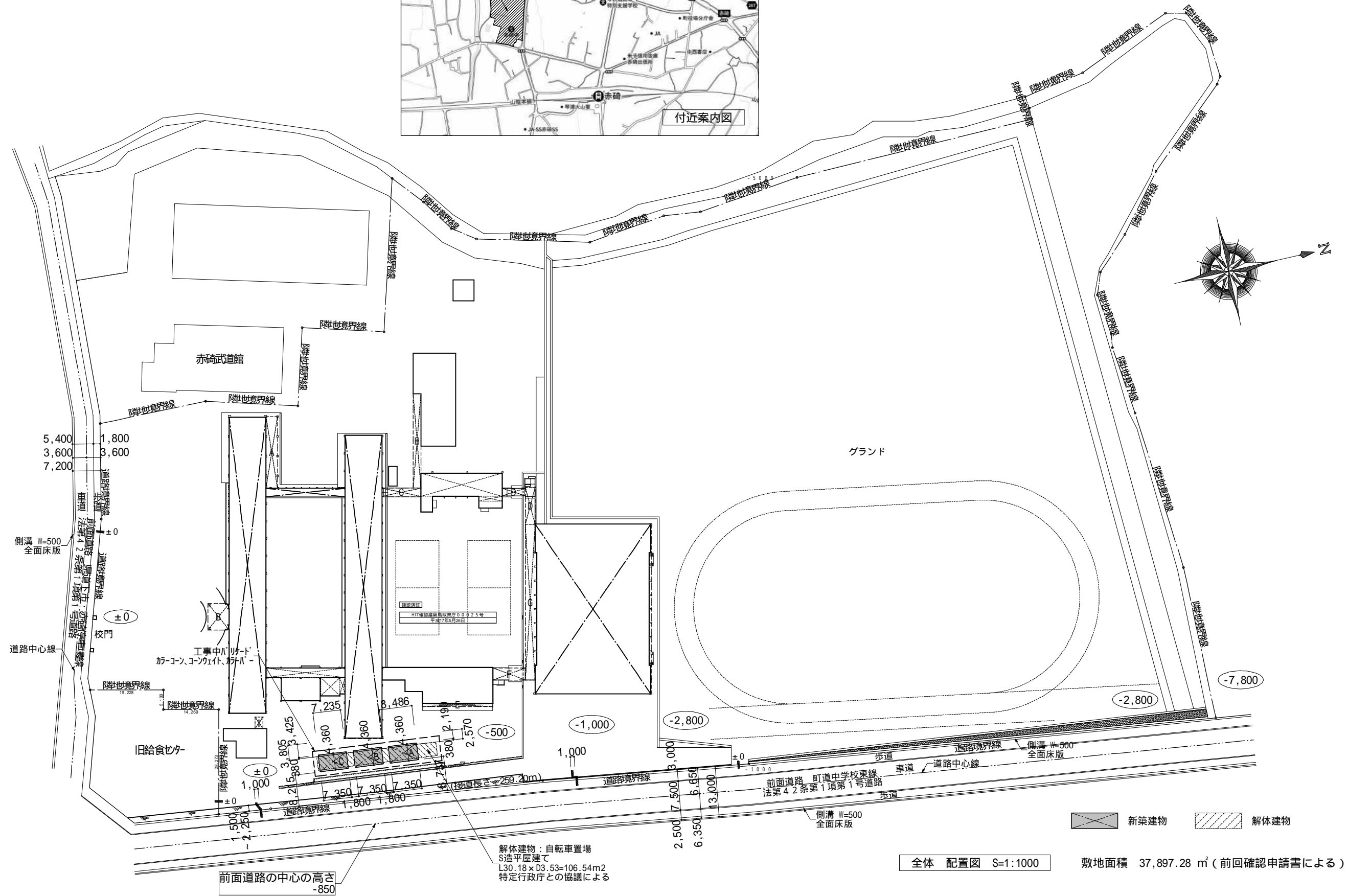
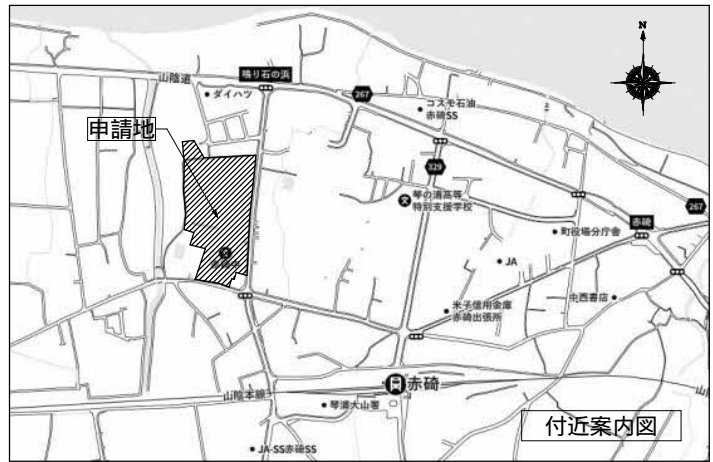
赤碕中学校自転車置場改築工事

解体 特記仕様書（4）

NO SCALE

ARCH 有限会社
一級建築士 第262287号 杉嶋 信次
琴浦事務所
TEL 0858-52-3599/FAX 0858-52-3599

NO. A - 6
DRAWING NO. 2022.9



解体建物：自転車置場
S造平屋建て
L30.18×D3.53=106.54m²
特定行政庁との協議による

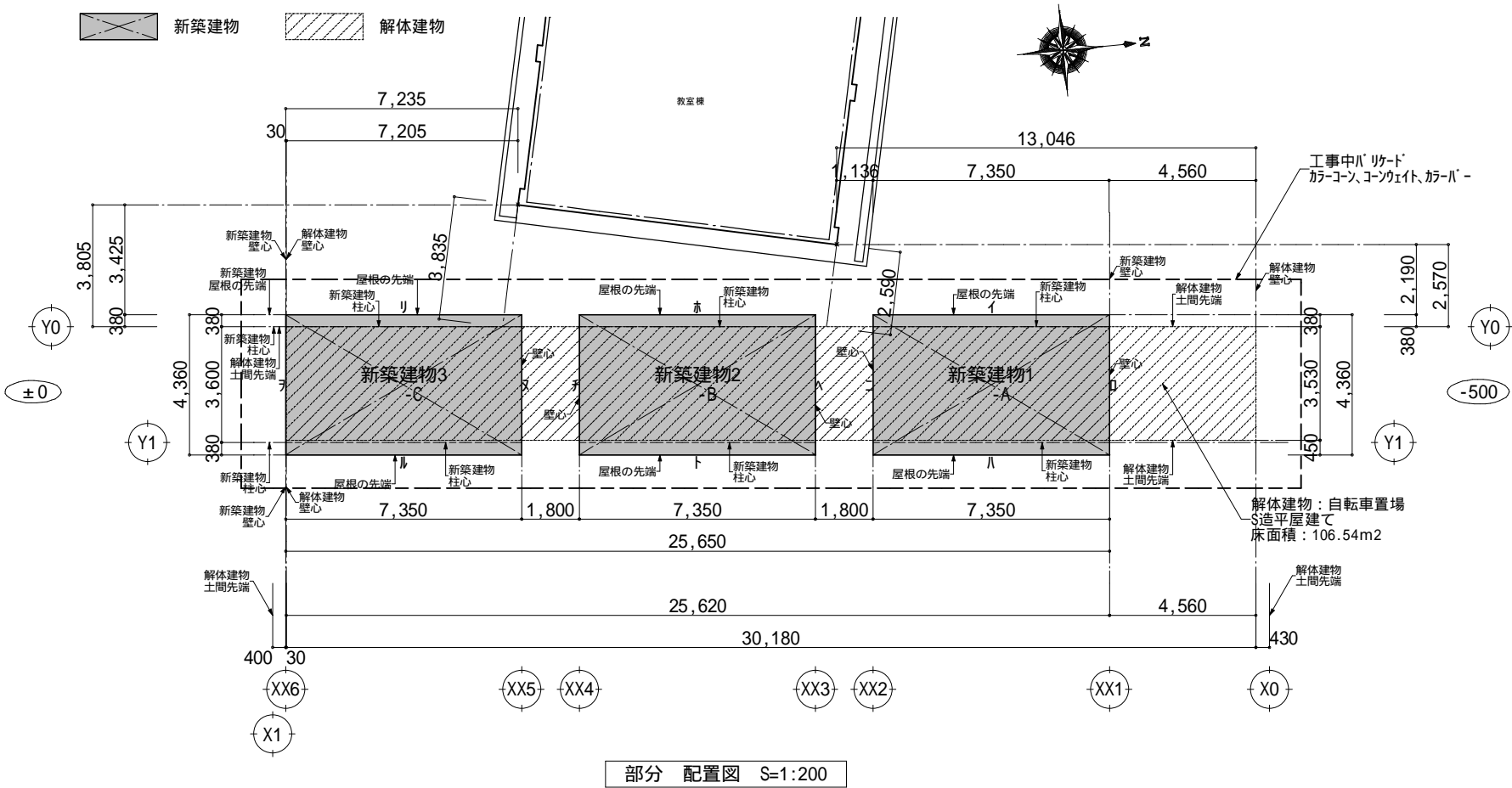
全体 配置図 S=1:1000 敷地面積 37,897.28 m² (前回確認申請書による)

面 積 表 (単位：m2)								
敷 地 面 積		37,897.28						
		建 築 面 積	B1 床 面 積	1F 床 面 積	2F 床 面 積	3F 床 面 積	床 面 積 合 計	
既 存 建 物	管理棟	建築面積はA、B共	820.29		726.93	727.71		1,454.64
	西渡り廊下		46.13		46.13	46.13		92.26
	東渡り廊下		111.25		111.25	51.25		162.50
	ILﾊﾞｰｸ棟		30.10		30.10	29.16	27.90	87.16
	教室棟		743.85		743.85	743.85		2,231.55
	部室棟	建築面積はC、D共	213.84		156.00	133.20		289.20
	昇降口	建築面積はE、F共	259.91		218.18			218.18
	体育館	建築面積はG共	1,487.56	118.00	1,400.52	297.27		1,815.79
	技術棟	建築面積はH共	284.90		236.90			236.90
	配膳室棟	建築面積はI共	71.31		65.31			65.31
	ﾌﾟﾚﾊﾞｰ倉庫		11.22		11.22			11.22
	相撲場		29.16		29.16			29.16
	既存建物 計			4,109.52	118.00	3,775.55	2,028.57	771.75
新 築 建 物	-A 自転車置場		32.05		32.05			32.05
	-B 自転車置場		32.05		32.05			32.05
	-C 自転車置場		32.05		32.05			32.05
	新築建物 計			96.15		96.15		96.15
	全体 合計			4,205.67	118.00	3,871.70	2,028.57	771.75
解体建物(自転車置場)		S造平屋建て	106.54		106.54			106.54

新築建物 1 (13-A) 地盤面算定表				平均高さはKBMよりの高さを示し、KBM+100を設計GLとする			
符号	長さ(m)	平均高さ(m)	面積(m2)	符号	長さ(m)	平均高さ(m)	面積(m2)
イ	7.350	0.156	1.147	ハ	7.350	0.057	0.419
ロ	4.360	0.036	0.157	ニ	4.360	0.177	0.772
				合計	23.420		2.495
平均地盤面 = 2.495m2 ÷ 23.420m = 0.107m							
平均地盤面 = 設計GL+0.007m							
新築建物 2 (13-B) 地盤面算定表				平均高さはKBMよりの高さを示し、KBM+200を設計GLとする			
符号	長さ(m)	平均高さ(m)	面積(m2)	符号	長さ(m)	平均高さ(m)	面積(m2)
ホ	7.350	0.245	1.801	ト	7.350	0.167	1.227
ヘ	4.360	0.182	0.794	チ	4.360	0.230	1.003
				合計	23.420		4.825
平均地盤面 = 4.825m2 ÷ 23.420m = 0.206m							
平均地盤面 = 設計GL+0.006m							
新築建物 3 (13-C) 地盤面算定表				平均高さはKBMよりの高さを示し、KBM+290を設計GLとする			
符号	長さ(m)	平均高さ(m)	面積(m2)	符号	長さ(m)	平均高さ(m)	面積(m2)
リ	7.350	0.290	2.132	ル	7.350	0.258	1.896
ヌ	4.360	0.239	1.042	ヲ	4.360	0.309	1.933
				合計	23.420		7.003
平均地盤面 = 7.003m2 ÷ 23.420m = 0.299m							
平均地盤面 = 設計GL+0.009m							

工事における特記事項

1. 工事中はﾊﾞﾘｰｸﾞｰﾄﾞにて工事範囲と一般部を分離し関係者の安全に留意すること。
2. 工事部分と教室棟の間に污水管及び污水枳が存在しているため
施工に当たっては破損しないように充分留意すること。
3. 既存自転車置場の土間、基礎解体においては地盤面下の構造を示す
現状図面が存在していないため、想定した断面としている。
著しい違いが見られる場合は発注者、監理者、受注者にて協議する。
4. 自転車置場の新築に際しては隣棟間による延焼線は発生しない。
特定行政庁との協議による。
5. 工事日程等については発注者及び学校と協議を行うこと。



新築建物 建築面積計算 特定行政庁との協議による

1棟当り：7.35×4.36 = 32.046 32.05m2

3棟合計：32.05×3 = 96.15m2

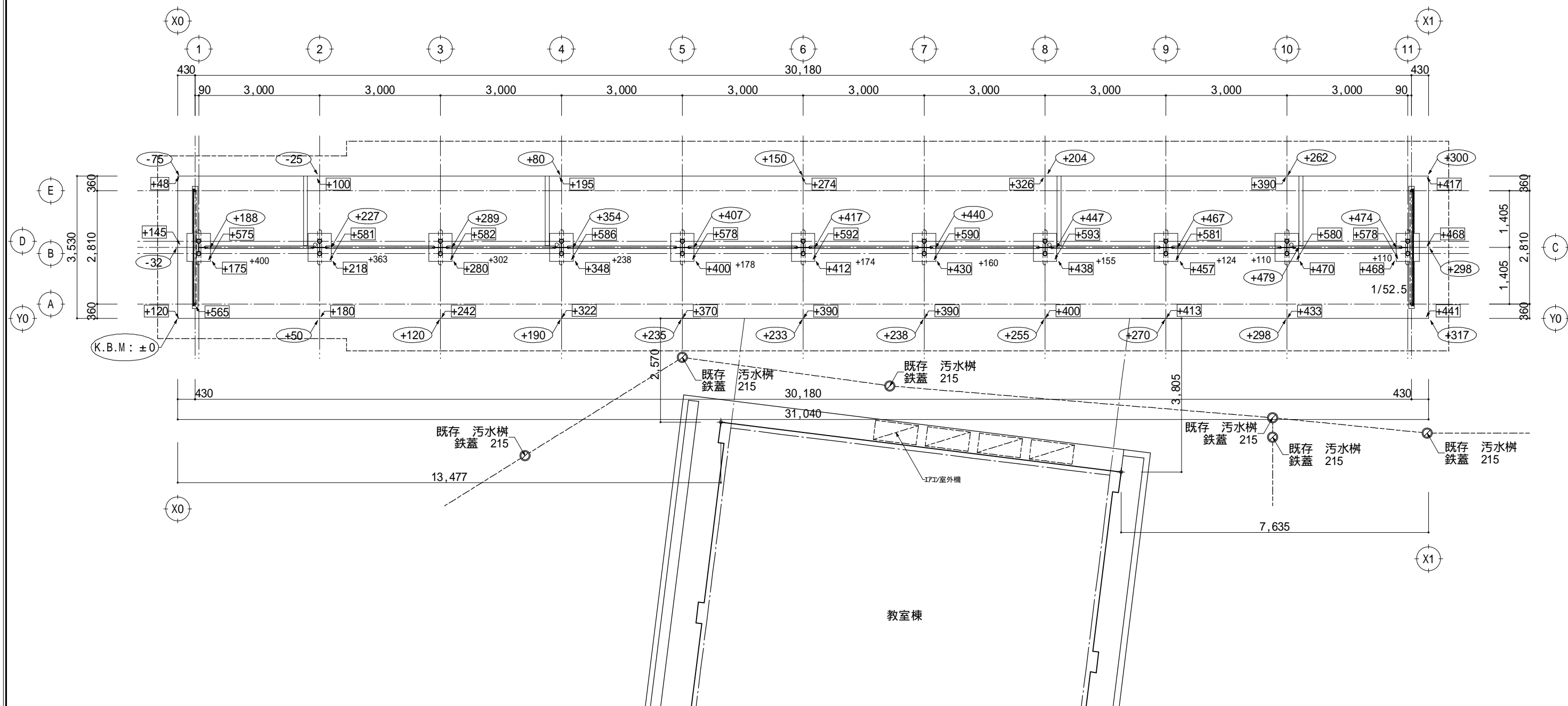
新築建物 床面積計算 特定行政庁との協議による

1棟当り：7.35×4.36 = 32.046 32.05m2

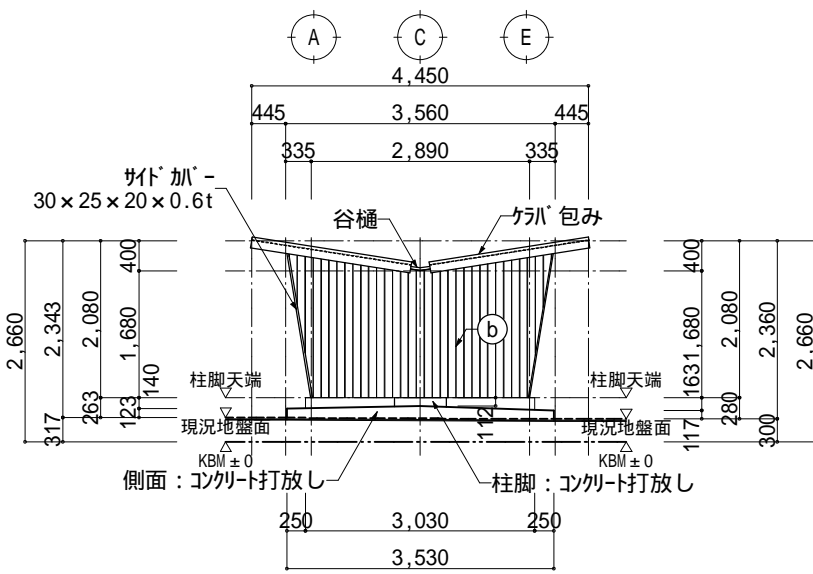
3棟合計：32.05×3 = 96.15m2

解体建物 床面積計算 特定行政庁との協議による

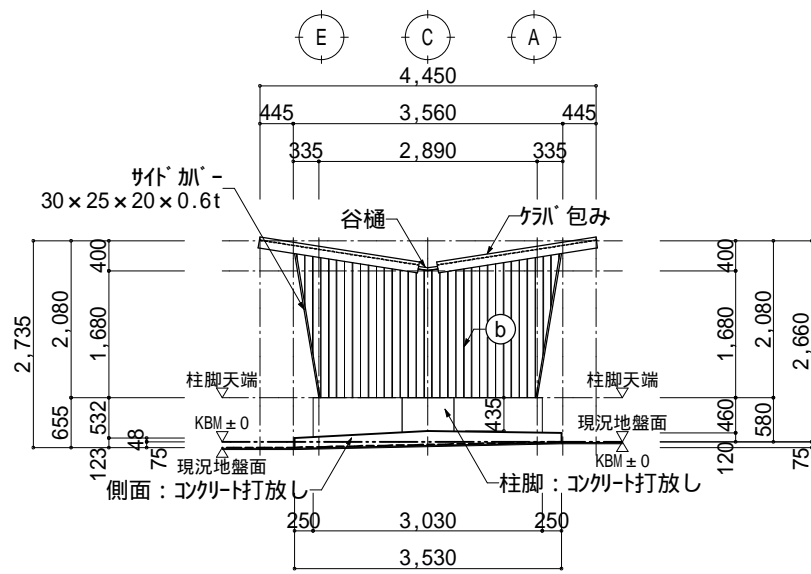
30.18×3.53 = 106.535 106.54m2



	HEAD	CHIEF	DRAW	TITLE 赤碕中学校自転車置場改築工事	ARCH <small>有限会社 アーク設計工房</small> 一級建築士 第262287号 杉嶋 信次 TEL 0858-52-3599/FAX 0858-52-3599	<small>NO.</small> A - 9 <small>DRAWING NO.</small> 2022.9
				S=1:100		
				解体 平面図		

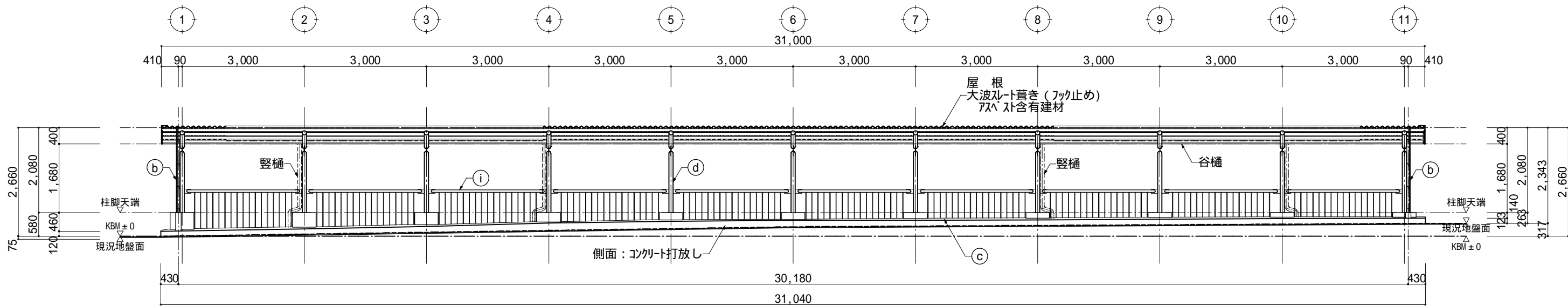


既存 南面立面図 S=1:100

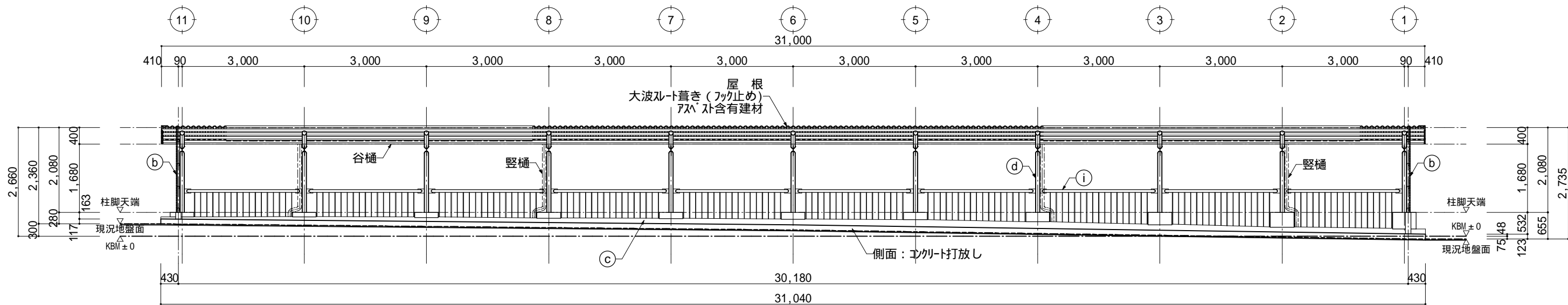


既存 北面立面図 S=1:100

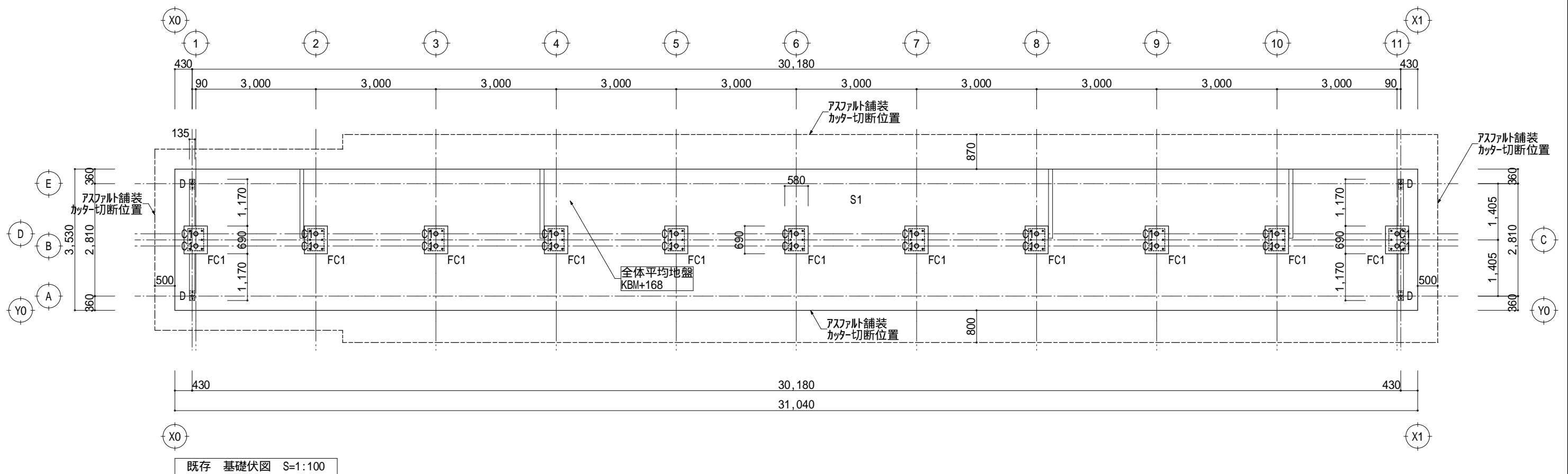
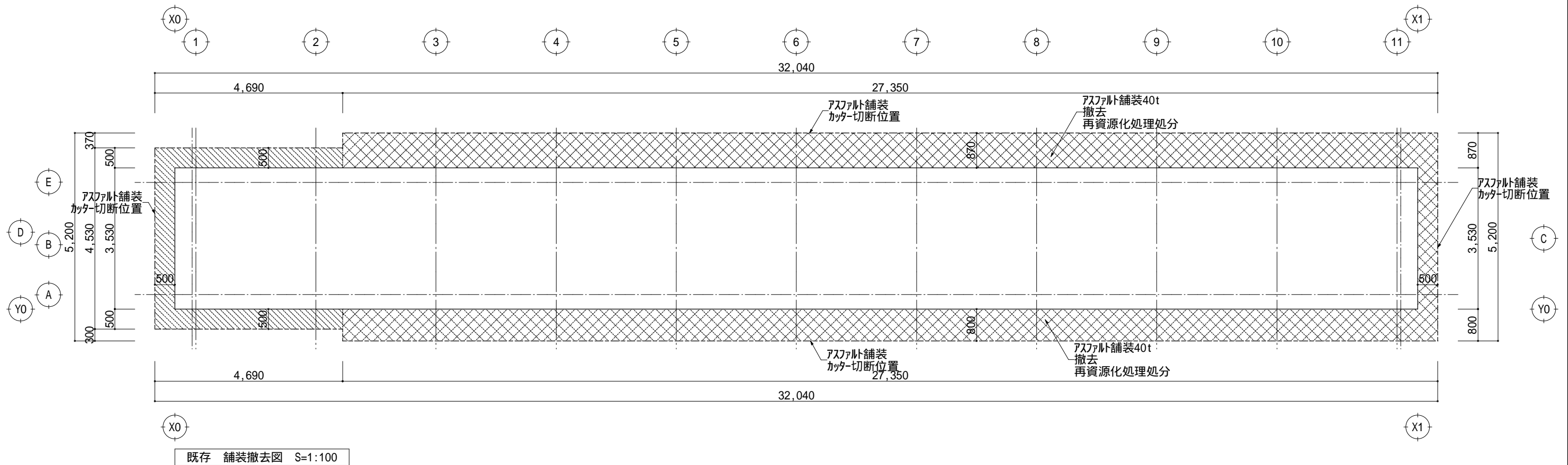
仕 上 表		
(a)	屋 根	大波スｰﾄ葺き (ﾌｯｸ止め) ﾏｽﾍﾞﾙｽﾀ含有建材 ケﾗﾊﾞ 包み : GL鋼板0.6t x W200 x H150程度
(b)	外 壁	杉板8t縦張り、ｺﾝｸﾘｰﾄ12t下地、立上り部 : ｺﾝｸﾘｰﾄ打放し ｼｬｲﾄﾞ ｶﾊﾞｰ : GL鋼板30 x 25 x 20 x 0.6t
(c)	床	ｺﾝｸﾘｰﾄ金ｺﾞｼﾞ仕上 ｺﾝｸﾘｰﾄ200t、側面 : ｺﾝｸﾘｰﾄ打放し 柱脚 : ｺﾝｸﾘｰﾄ打放し
(d)	柱	101.6 x 5.7、ﾏｯｷ仕上 ﾏﾞｷﾞ PL-6 x D100 (2段) B.PL-12 x 350 x 550、A.BOLT 6-M16
(e)	梁	101.6 x 5.7、ﾏｯｷ仕上
(f)	母 屋	60.5 x 3.2、ﾏｯｷ仕上 G.PL-6 x 100 x 130
(g)	胴 縁	60.5 x 3.2、ﾏｯｷ仕上 縦部 : B.PL-9 x 100 x 230、A.BOLT 2-M12
(h)	樋	谷樋 : GL鋼板0.6t加工、受 : FB-4.5 x 32@375 縦樋 : VU100 (自在ﾄﾚｰ共) 4ヶ所
(i)	仕切り柵	60.5 x 3.2、ﾏｯｷ仕上 縦格子 : 12 x 17本/1ｽﾊﾟﾝ

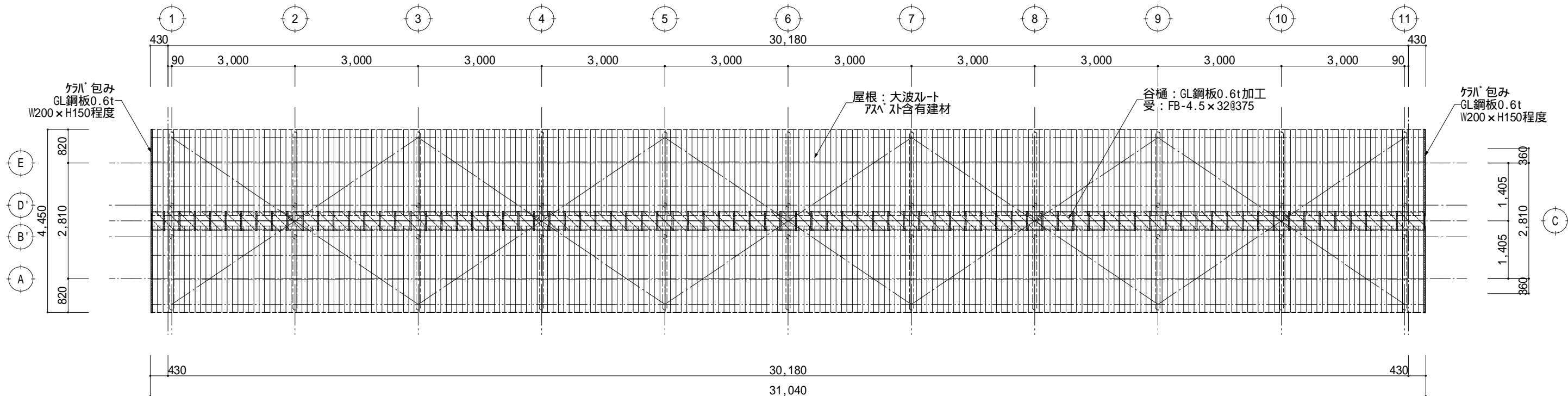


既存 西面立面図 S=1:100



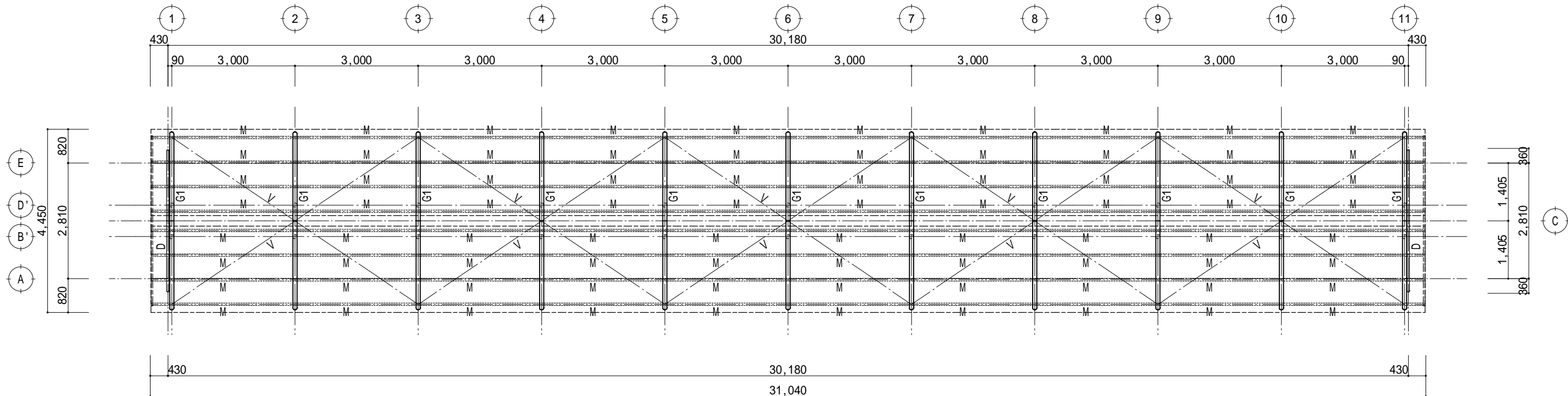
既存 東面立面図 S=1:100





既存 屋根伏図 S=1:100

C1	柱	101.6×5.7、ㄆ仕上 ㄆ PL-6×D100 (2段)、G.PL-6、H.T.B 2-M16 B.PL-12×350×550、A.BOLT 6-M16	D	胴縁	60.5×3.2、ㄆ仕上 G.PL-6、H.T.B 2-M16 縦部: B.PL-9×100×230、A.BOLT 2-M12
G1	梁	101.6×5.7、ㄆ仕上、G.PL-6、H.T.B 2-M16	V	小屋ブレース	1-M12、F.B-6×38、G.PL-6、H.T.B 1-M16
M	母屋	60.5×3.2、ㄆ仕上 G.PL-6、H.T.B 2-M16			



既存 小屋伏図 S=1:100

HEAD

CHIEF

DRAW

TITLE

赤碕中学校自転車置場改築工事

既存解体 小屋・屋根伏図

S=1:100

ARCH

有限会社 アーク設計工房

一級建築士 第262287号 杉嶋 信次

TEL 0858-52-3599/FAX 0858-52-3599

NO.

A - 12

DRAWING NO.

2022.9

構造耐力上主要な部分の部材

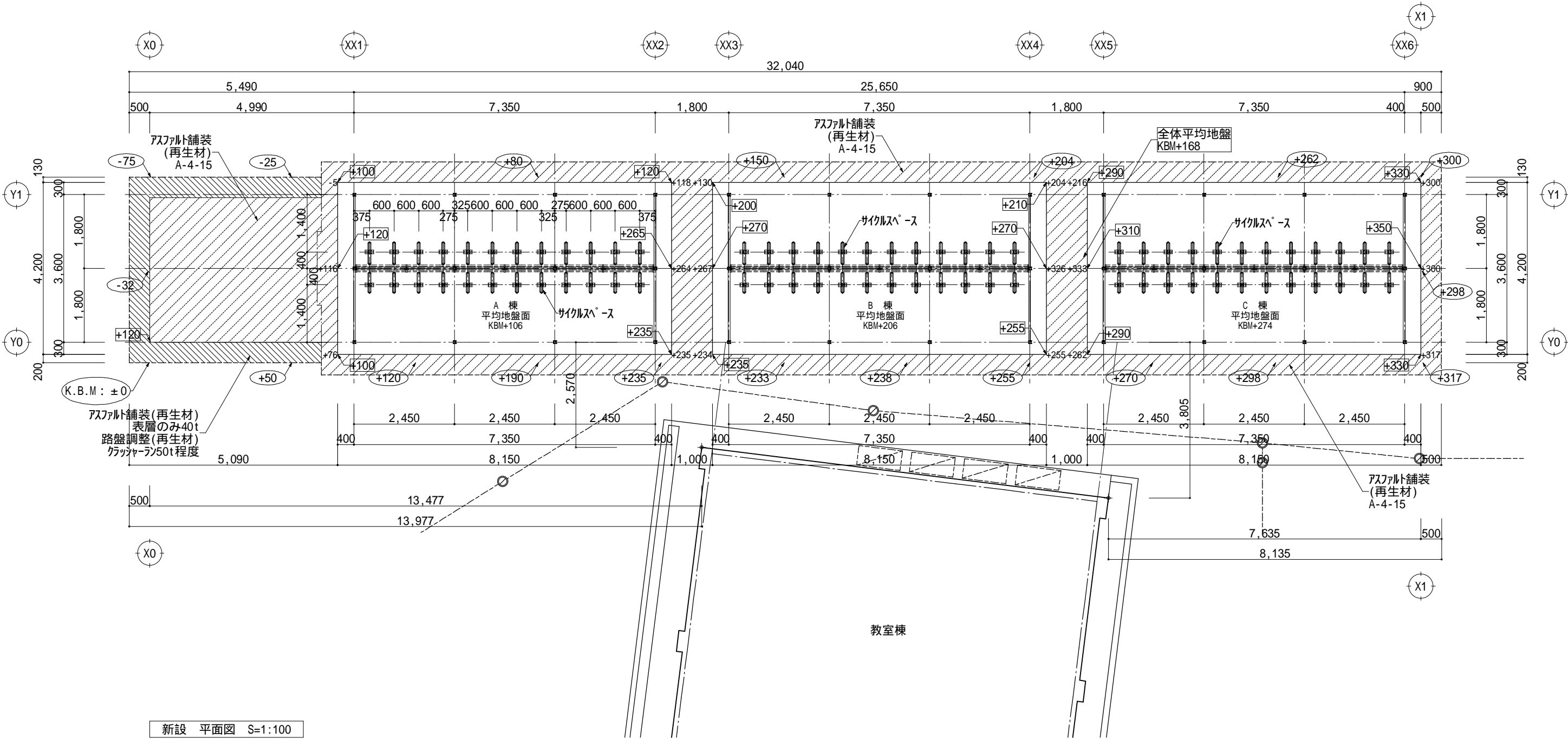
部材表	形状	板厚	使用材料	有効細長比
柱	□ — 65 x 65	2.3mm	塗装溶融亜鉛めっき鋼板	98.6
梁	□ — 75 x 65	2.3mm	塗装溶融亜鉛めっき鋼板	—
桁	□ — 100x75x20	2.3mm	塗装溶融亜鉛めっき鋼板	—
壁	ヨド角波サイディング800N型	0.4mm	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 CGLCC	—

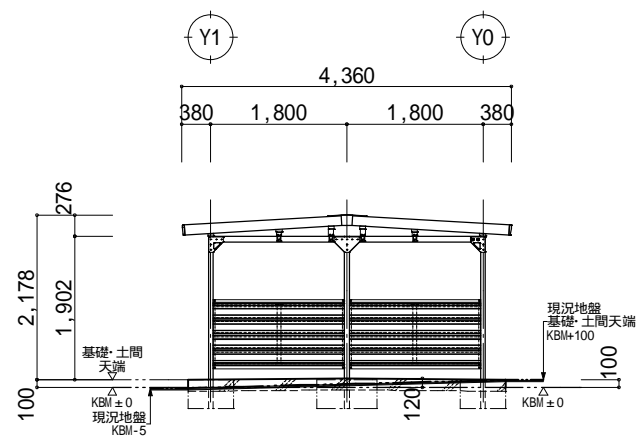
※自転車置場（1棟当り）：ヨドコウ YOKCS-245MA（基本棟、追加棟×2棟） 同等品とする

※サイクルスぺース（1棟当り）：ヨドコウ CRR-400（低床タイプ）×24ヶ所 同等品とする

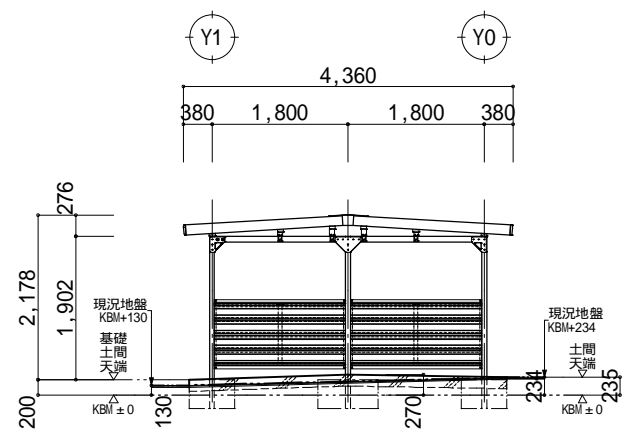
構造耐力上主要な部分以外の部材

部材表	形状	板厚	使用材料
間柱	□ — 50 x 20	1.6mm	JIS G3312 塗装溶融亜鉛めっき鋼板 CGCC
胴縁	□ — 70 x 48	1.6mm	JIS G3312 塗装溶融亜鉛めっき鋼板 CGCC
車止め	□ — 32 x 32	1.6mm	JIS G3312 塗装溶融亜鉛めっき鋼板 CGCC
屋根	ヨドルーフ 66	0.5mm	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 CGLCC
建築面積 26.46 m ² /棟			（間口柱芯寸法）×（奥行柱芯寸法）

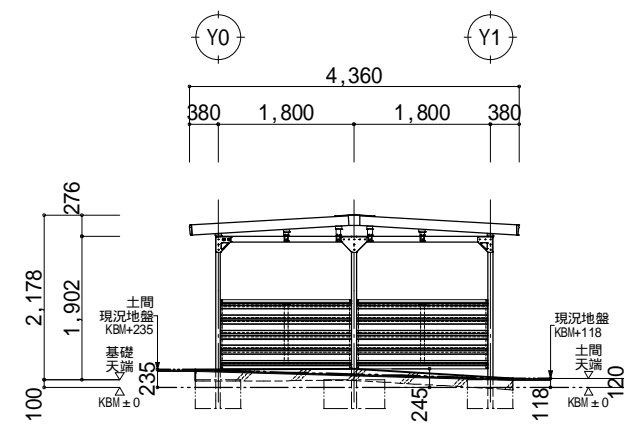




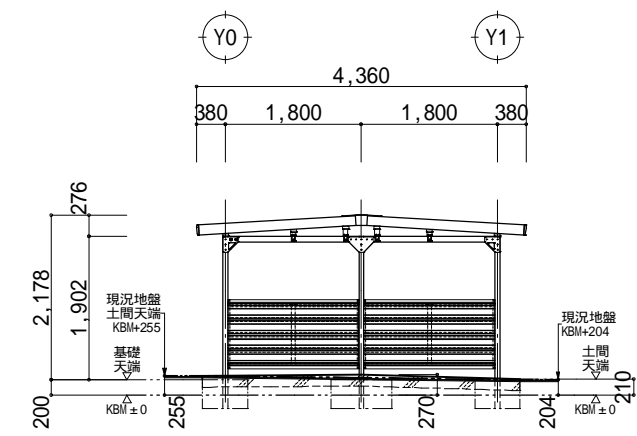
A棟 北面立面図 S=1:100



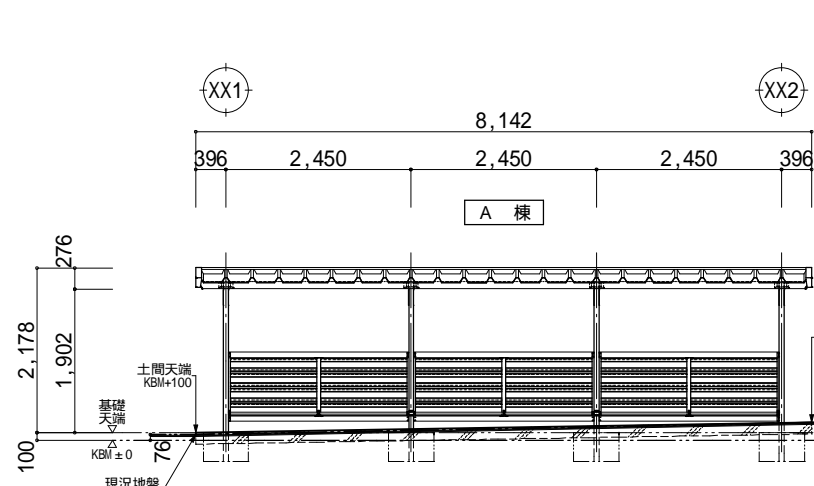
B棟 北面立面図 S=1:100



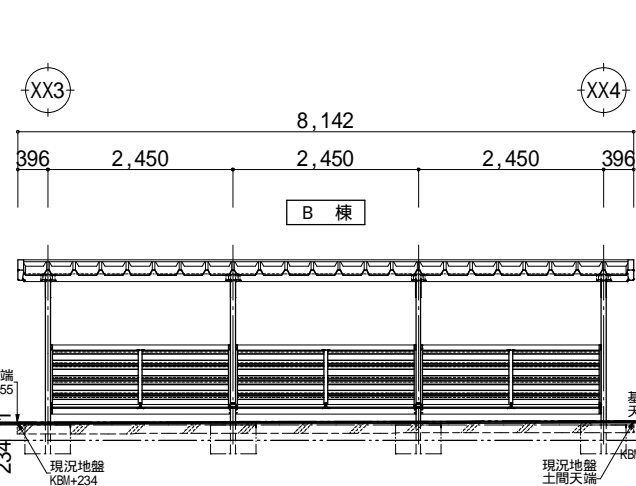
A棟 南面立面図 S=1:100



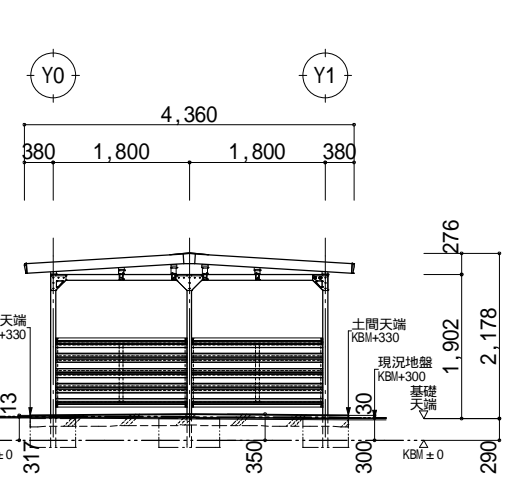
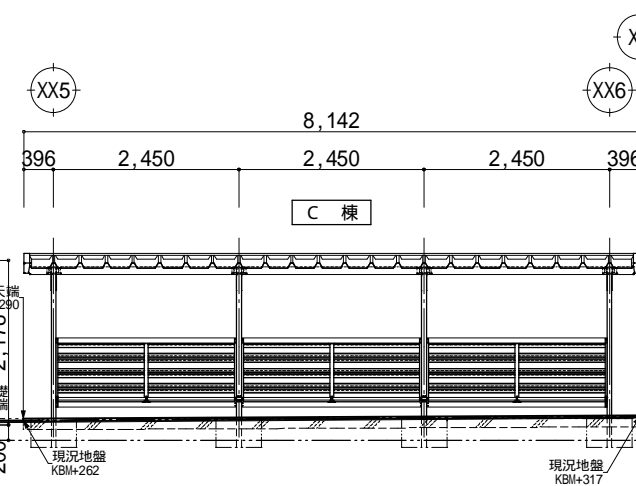
B棟 南面立面図 S=1:100



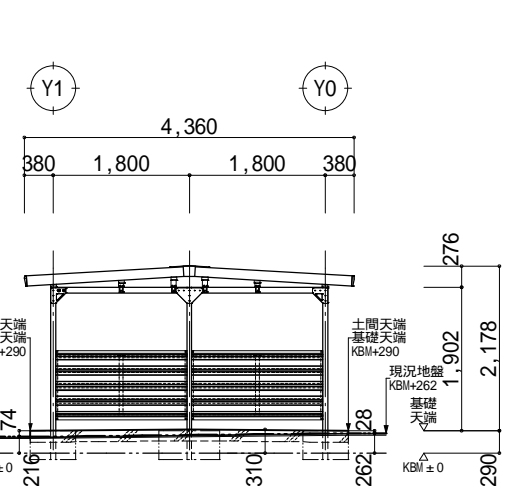
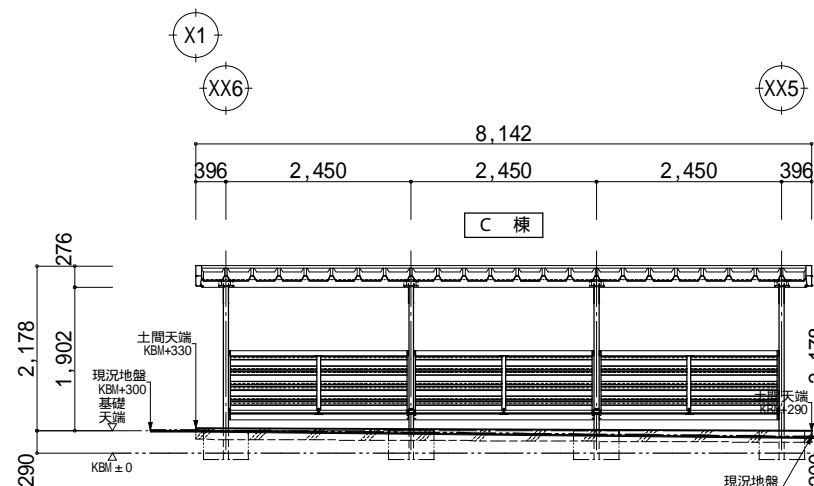
新設 西面立面図 S=1:100



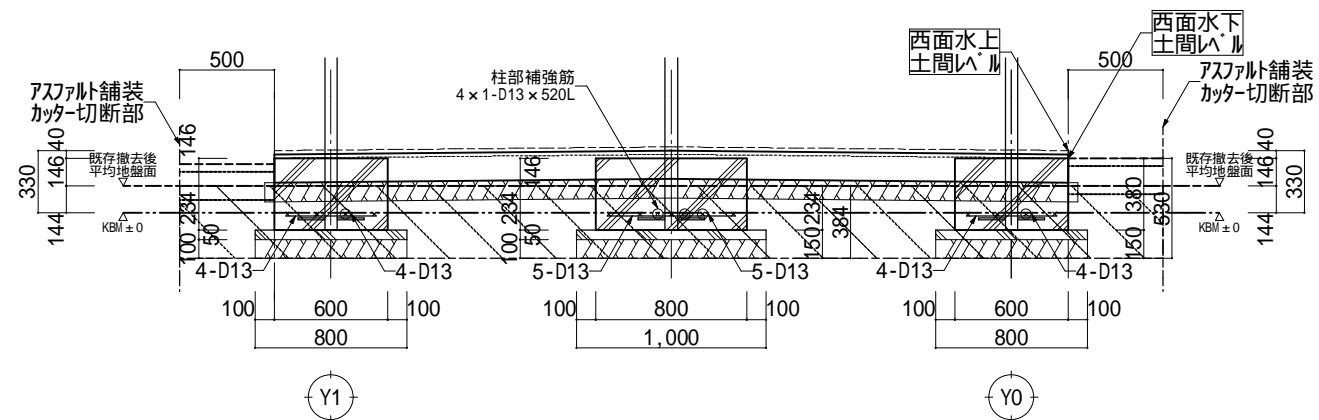
新設 東面立面図 S=1:100



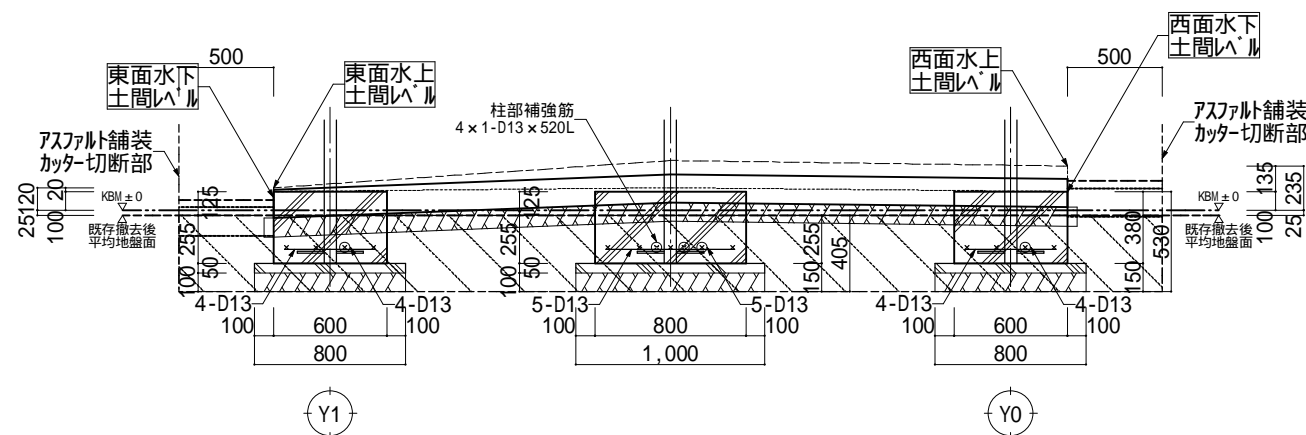
C棟 南面立面図 S=1:100



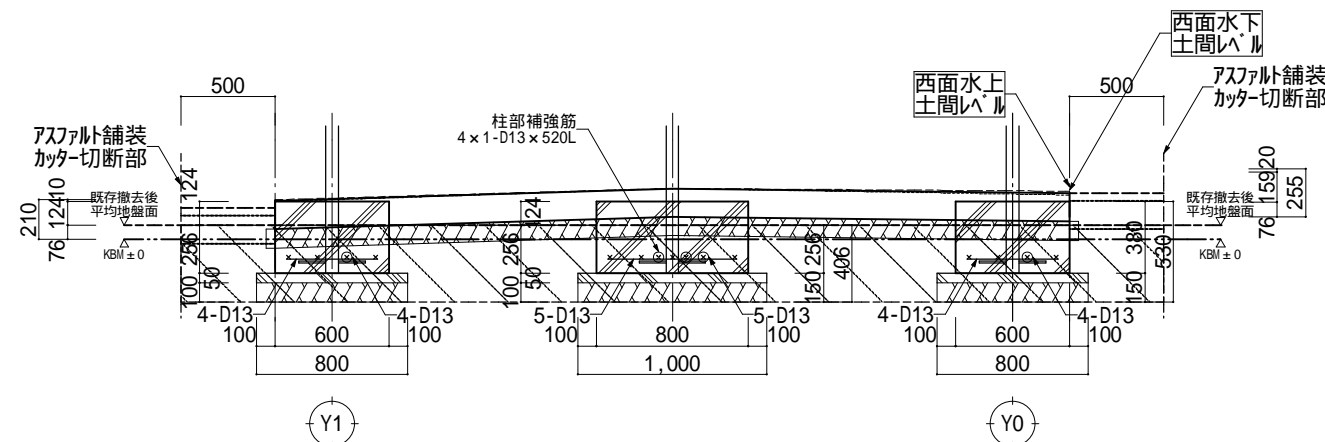
C棟 北面立面図 S=1:100



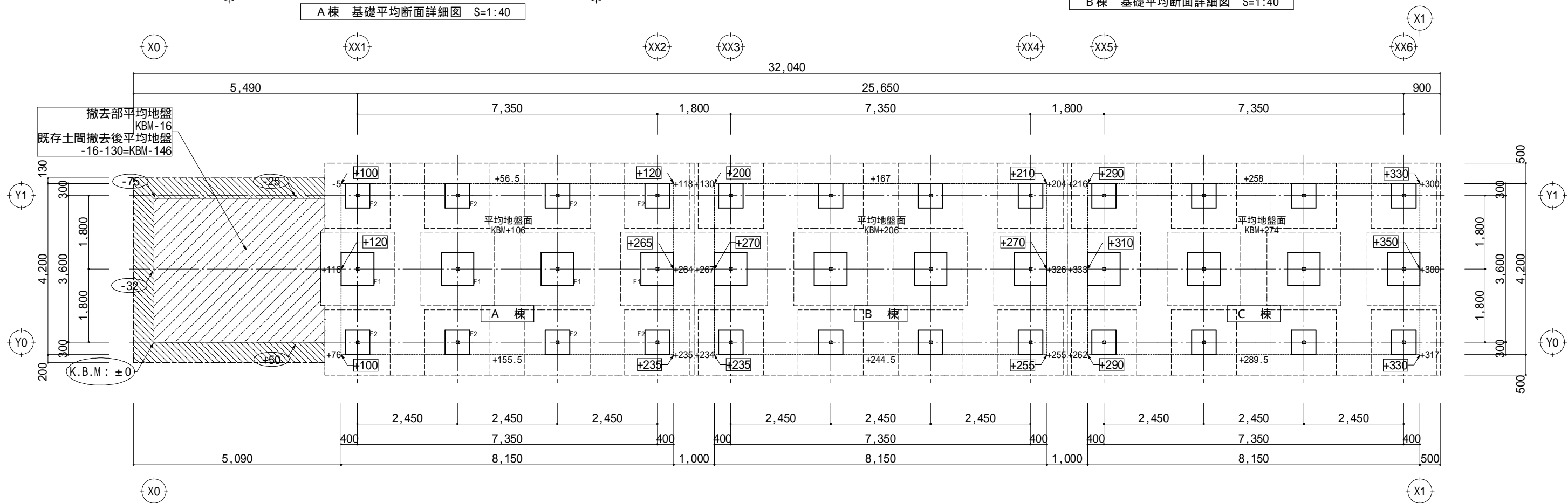
C棟 基礎平均断面詳細図 S=1:40



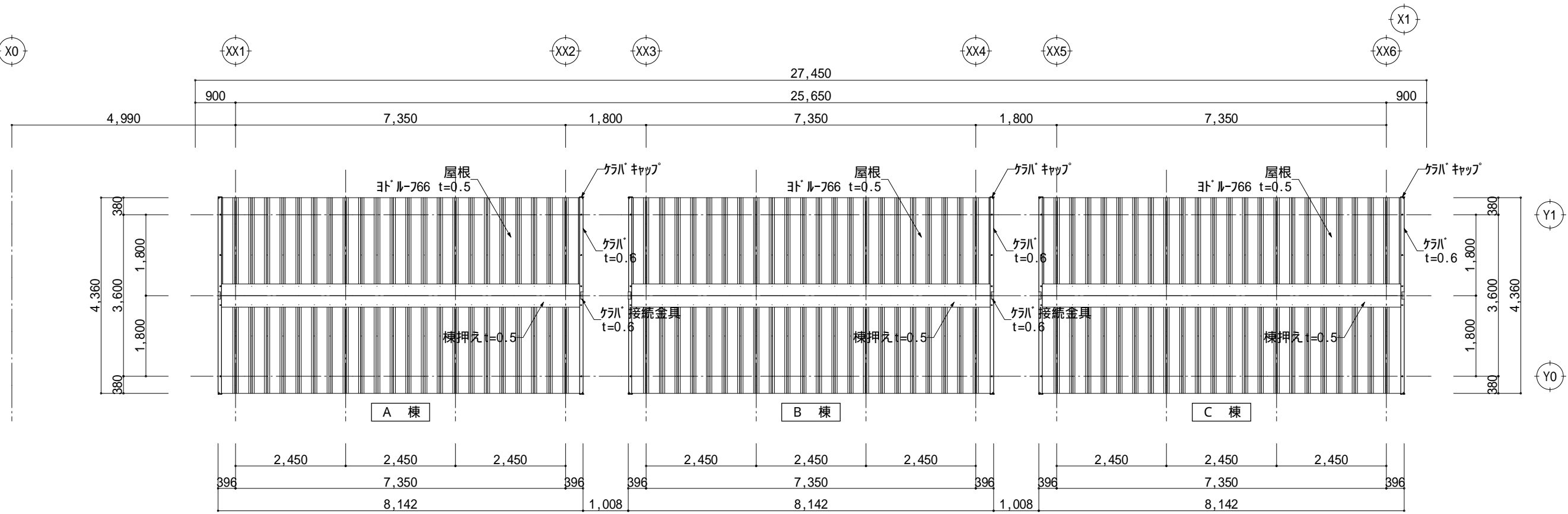
A棟 基礎平均断面詳細図 S=1:40



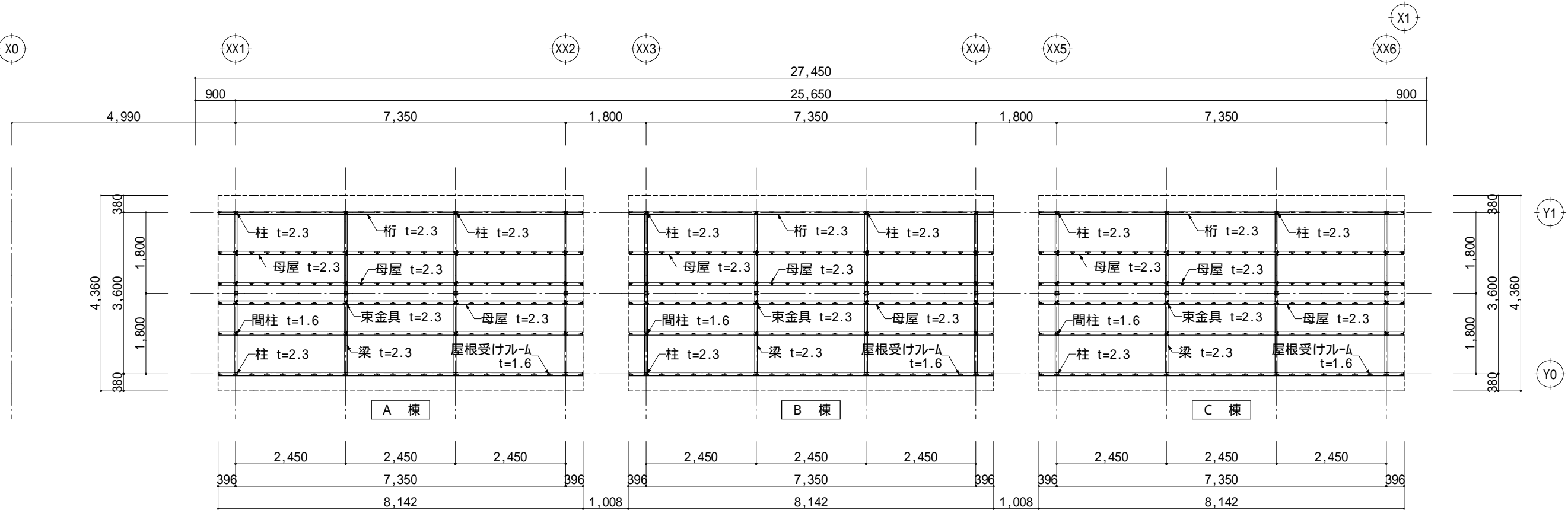
B棟 基礎平均断面詳細図 S=1:40



新設 基礎伏図 S=1:100

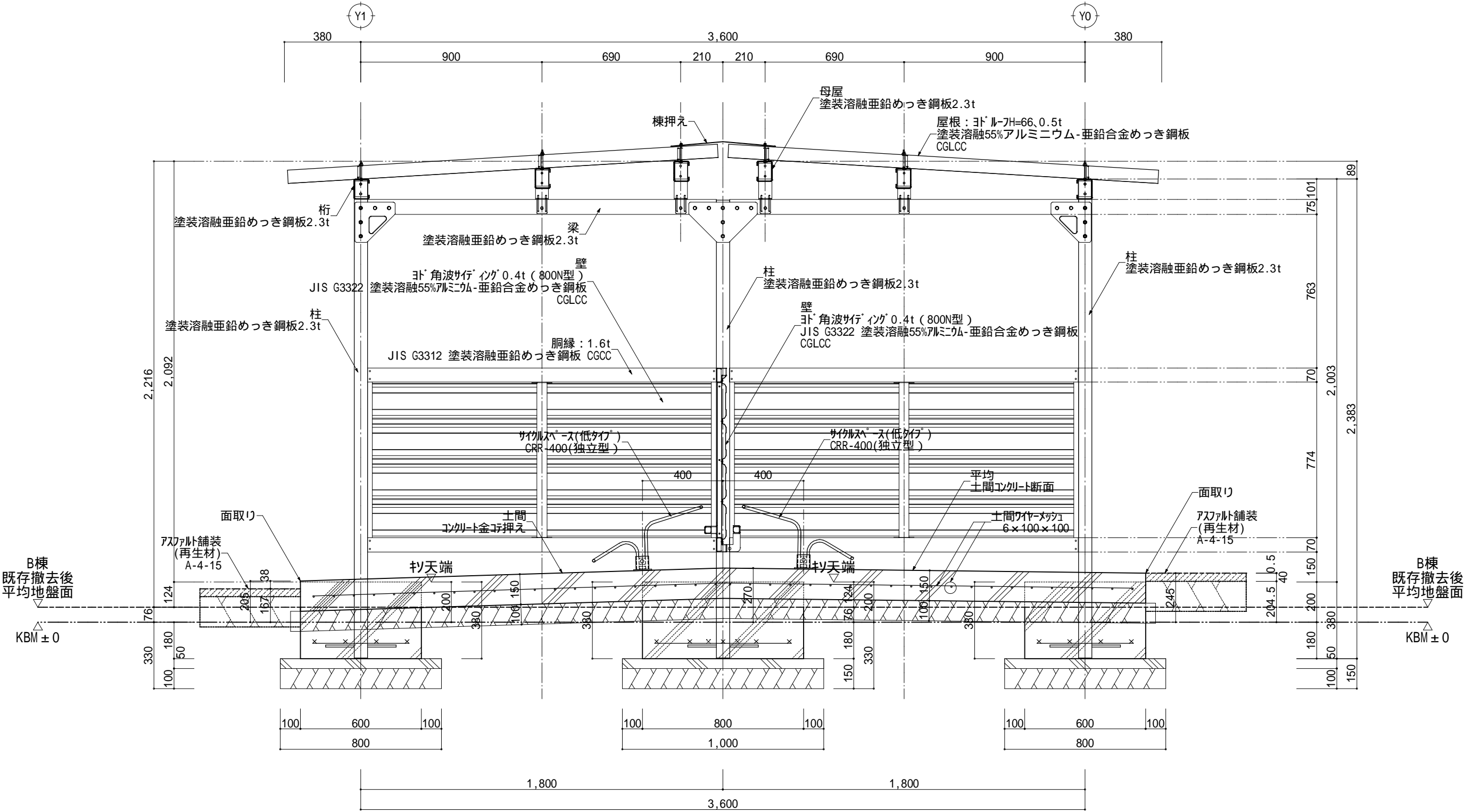


新設 屋根伏図 S=1:100



新設 小屋伏図 S=1:100

※自転車置場（1棟当り）：ヨドコウ YOKCS-245MA（基本棟、追加棟×2棟） 同等品とする
※サイクルスペース（1棟当り）：ヨドコウ CRR-400（低床タイプ）×24ヶ所 同等品とする



B棟 矩 計 図 S=1:20

HEAD	CHIEF	DRAW	TITLE
			赤碕中学校自転車置場改築工事
			新設 矩計図

赤碕中学校自転車置場改築工事

新設 矩計図

S=1:20

ARCH

有限会社 アーク設計工房
一級建築士 第262287号 杉嶋 信次
TEL 0858-52-3599/FAX 0858-52-3599

NO. A - 18
DRAWING NO. 2022.9